

新規事業箇所調書

		調書作成年月日		平成22年 2月 9日		
		事業担当課		農村整備課		
事業名	経営体育成基盤整備事業 <small>かのみまた</small> (鹿又地区)		補助・単独の別	補助	事業主体	宮城県
	施行地名	いしのまきしかのみまた 石巻市鹿又地内				管理主体
根拠法令 土地改良法						
事業概要	事業目的					
	<p>本地区は、宮城県北東部の石巻市旧河南町に位置し、北側から東側を一級河川旧北上川、西側を須江山丘陵に囲まれた低平な水田地帯である。</p> <p>地区内の水田は、昭和22年～27年にかけて行われた耕地整理事業により10a標区画で整備されており、基幹用水路は国営かんがい排水事業等により整備済みである。</p> <p>しかし、末端の水路は用排兼用土水路で未整備のため排水不良であり、農道は狭小でほ場が分散しているため、近代的な営農に支障を来たしており、担い手の育成を阻害している状況である。</p> <p>このため、本事業により生産基盤を整備し、区画形状の拡大と用排水路の完全分離を実現し、生産コストの低減と耕地の汎用化を図り、担い手の育成と農地の面的集積を行い、農業経営の安定化を図るものである。</p>					
	事業内容					
	区画整理工 A = 584.6ha					
の	事業費					
	全体事業費		費用負担内訳			
	内用地	[55 %]	[30 %]	[5 %]	その他 (受益者) [10 %]	
	62.66億円	0.00億円	34.46億円	18.80億円	3.13億円	6.27億円
概	事業期間					
	事業期間		平成22年度～平成27年度（6年間）			
要	施設管理の予定					
	施設項目	道路	用排水路，揚水機場，暗渠排水機場			
	管理区分	石巻市	河南矢本土地改良区			

	上位計画等															
	○上位計画 ・河南町農業振興地域整備計画(昭和61年3月) ・河南地域水田農業ビジョン(平成20年7月) ・みやぎ農業農村整備基本計画(平成18年4月)															
事業の必要性	事業を巡る社会経済情勢等															
	○社会経済情勢 米価が低迷し生産コストの一層の低減が求められていることや農家の高齢化と後継者不足により、水田農業の担い手(経営体)の確保と育成が強く求められている。また、食料の安定供給のための自給率向上とバランスのある生産のためには、作業効率を高める水田の大区画化と栽培作物の拡大を図る水田の汎用化が必要となることから、農業者から基盤整備事業の導入要望が強い。 本地区の現況水田は昭和20年代に実施された耕地整理事業により、大部分が10a標準区画に整備されているが、農道の幅員については狭小で、水路は用排兼用の土水路のため、維持管理や大型農業機械の導入等効率的な営農に支障を来している状況である。 そのため、基盤整備事業を契機として農用地の流動化を進め、規模拡大による生産性の高い低コスト土地利用型農業を展開することで、農業経営の安定化を目指している。 ○地元情勢、地元の意見 (1)関係市町村、受益者の合意状況 ・石巻市及び河南矢本土地区改良区と合意を得ている。 (2)営農支援体制 ・鹿又地区基盤整備関連促進計画策定委員会を設立(H19.5.23) 構成メンバー：推進委員、土地利用調整委員、石巻市、石巻市農業委員会、いしのまき農業協同組合、河南矢本土地区改良区、宮城県農業公社 (3)地元の事業推進体制 ・鹿又地区基盤整備事業推進委員会(H18.1.31設立) ・鹿又地区土地利用調整委員会(H19.5.23設立) ・鹿又地区基盤整備関連促進計画策定委員会(H19.5.23設立)															
事業の有効性	事業効果															
	○想定される事業効果 (1)地域農業の中心となる担い手の育成が図られる。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\区分</th> <th>現況</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>集落営農組織</td> <td>—</td> <td>1組織</td> </tr> </tbody> </table> (2)営農機械の大型化、経営規模の拡大により生産コストが低減する。 ア)担い手経営体の地区内経営面積が農地集積により増加する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\区分</th> <th>現況</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農地集積面積</td> <td>0.0(0.0)ha</td> <td>383.2(380.4)ha</td> </tr> <tr> <td>農地集積率</td> <td>0.0(0.0)%</td> <td>65.6(65.1)%</td> </tr> </tbody> </table> ※()内は面的集積(1ha以上の連坦団地)	項目\区分	現況	計画	集落営農組織	—	1組織	項目\区分	現況	計画	農地集積面積	0.0(0.0)ha	383.2(380.4)ha	農地集積率	0.0(0.0)%	65.6(65.1)%
項目\区分	現況	計画														
集落営農組織	—	1組織														
項目\区分	現況	計画														
農地集積面積	0.0(0.0)ha	383.2(380.4)ha														
農地集積率	0.0(0.0)%	65.6(65.1)%														

事業の有効性

イ) 地区内農家の水稲・大豆作付けに係る労働時間が減少する。

項目\区分		現況	計画
労働時間	水稲	19.6hr/10a	14.9hr/10a
	大豆	7.7hr/10a	3.9hr/10a

ウ) 地区内農家の水稲・大豆作付けに係る生産コストが減少する。

項目\区分		現況	計画
生産コスト	水稲	162千円/10a	92千円/10a
	大豆	71千円/10a	31千円/10a

エ) 地区内農家の機械台数が減少する。

項目\区分	田植機	トラクター	コンバイン
現況	211台	217台	155台
計画	97台	81台	69台

(3) 水田の汎用化により土地利用型作物の拡大が図られ、耕地利用率が向上する。

ア) 主な作物の作付け面積

項目\区分	現況	計画
水稲	384.4ha	384.4ha
大豆	9.2ha	181.2ha
加工用米	125.5ha	—

イ) 耕地利用率

項目\区分	現況	計画
耕地利用率	94.6%	100%

関連事業の概要・進捗状況等

事業名	工期	進捗率
国営かんがい排水事業 河南地区	昭和45年～昭和56年	100%
国営附帯県営かんがい排水事業 河南地区	昭和48年～昭和63年	100%
県営排水対策特別事業 嘉右衛門堀地区	昭和54年～昭和58年	100%
県営排水対策特別事業 宮沢堀地区	昭和56年～昭和63年	100%

代替案との比較検討

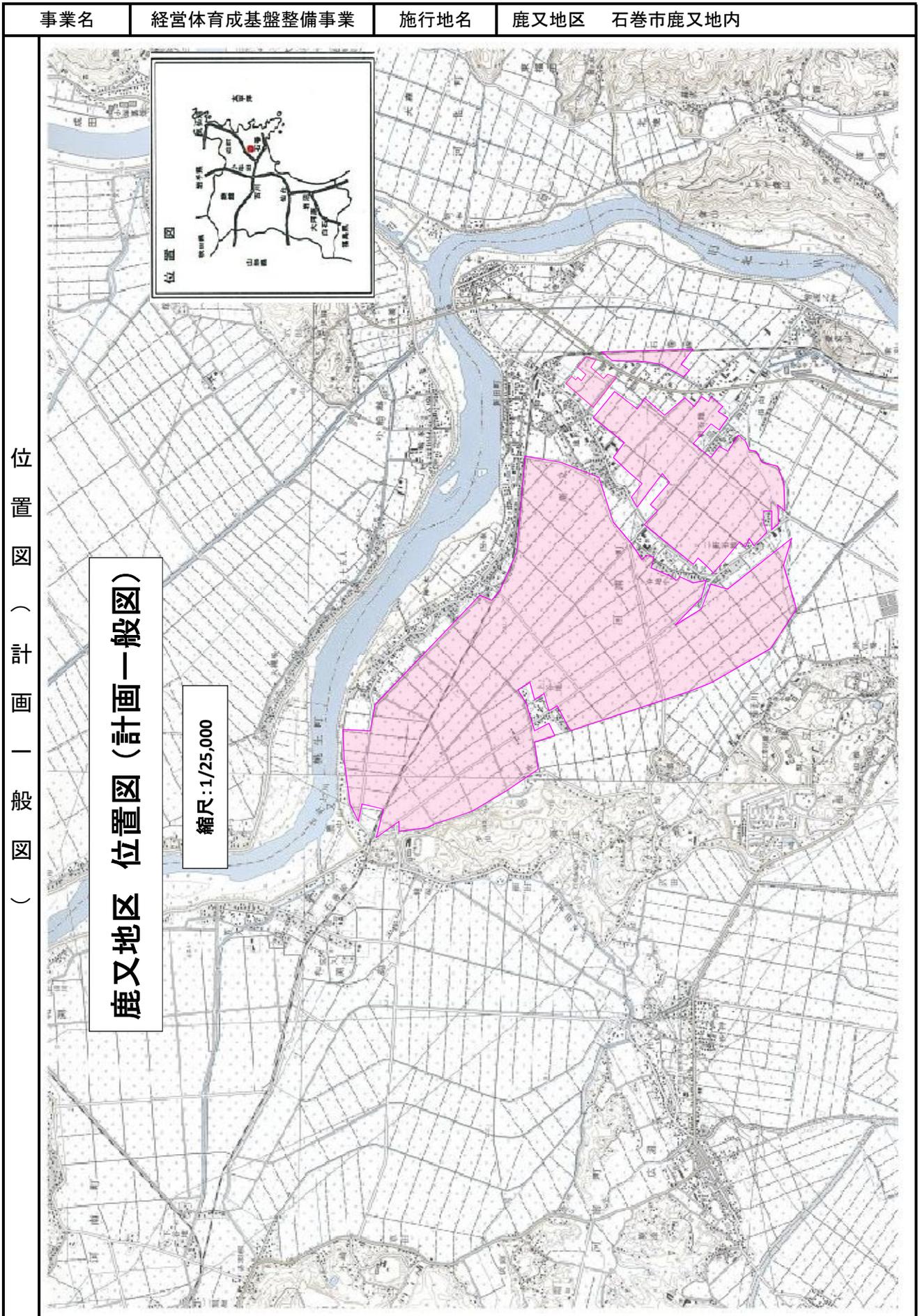
農作業の効率化を阻害している小区画水田や幅員の狭い農道、そして用排兼用で底高が浅い土水路の一体的な整備によって、水田での水稲及び大豆等の生産性を向上させるとともに、担い手を育成・確保し、農地の面的集積を図り、効率的で安定的な地域農業の確立ができるものとして、本事業を選定し導入したものである。

コスト削減計画

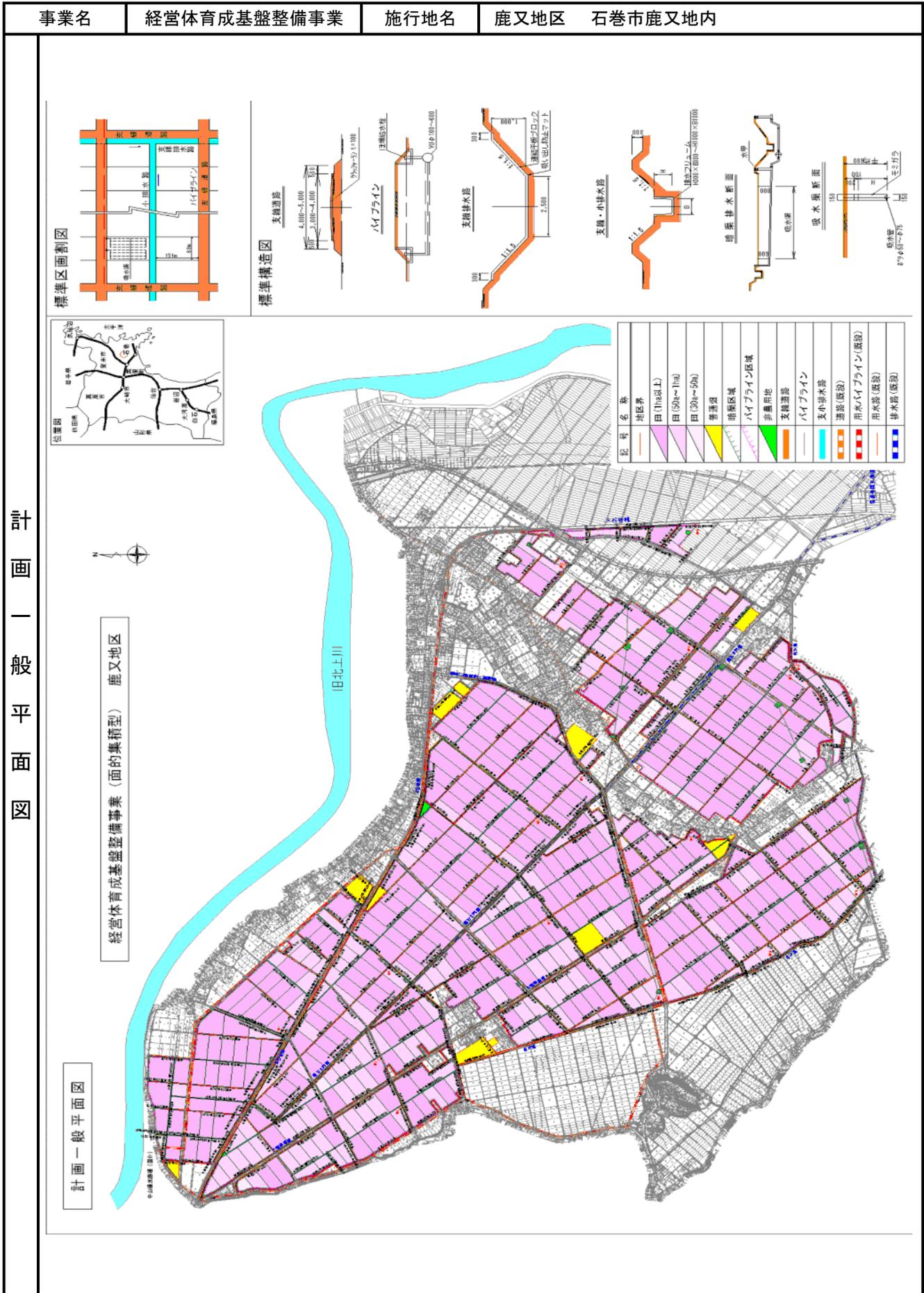
- ・ 現況区画(道・水路配置)を最大限利用した再区画方式を採用している。
- ・ 幹線用排水路を現況利用する計画としている。
- ・ 暗渠排水は低コスト型の浅埋方式を採用している。

事業の効率性	費用対効果																									
	根拠マニュアル：新たな土地改良の効果算定マニュアル（平成19年6月） 社会的割引率： 4.0% 便益算定期間： 46年 基準年： 平成21年																									
	<table border="1"> <tr> <td>総費用(現在価値) (C)</td> <td>10,225,468千円</td> </tr> <tr> <td> 当該事業による費用</td> <td>5,414,261千円</td> </tr> <tr> <td> その他費用(関連事業等)</td> <td>4,811,207千円</td> </tr> <tr> <td>年総効果(便益)額</td> <td>586,508千円</td> </tr> <tr> <td> 作物生産効果額</td> <td>257,560千円</td> </tr> <tr> <td> 営農経費節減効果額</td> <td>328,566千円</td> </tr> <tr> <td> 維持管理費節減効果額</td> <td>373千円</td> </tr> <tr> <td> 耕作放棄防止効果</td> <td>9千円</td> </tr> <tr> <td>評価期間(工事工期+40年)</td> <td>46年</td> </tr> <tr> <td>割引率</td> <td>0.04</td> </tr> <tr> <td>総便益額(現在価値) (B)</td> <td>10,433,062千円</td> </tr> <tr> <td>総費用総便益比(B/C)</td> <td>1.02</td> </tr> </table>		総費用(現在価値) (C)	10,225,468千円	当該事業による費用	5,414,261千円	その他費用(関連事業等)	4,811,207千円	年総効果(便益)額	586,508千円	作物生産効果額	257,560千円	営農経費節減効果額	328,566千円	維持管理費節減効果額	373千円	耕作放棄防止効果	9千円	評価期間(工事工期+40年)	46年	割引率	0.04	総便益額(現在価値) (B)	10,433,062千円	総費用総便益比(B/C)	1.02
	総費用(現在価値) (C)	10,225,468千円																								
	当該事業による費用	5,414,261千円																								
	その他費用(関連事業等)	4,811,207千円																								
	年総効果(便益)額	586,508千円																								
	作物生産効果額	257,560千円																								
	営農経費節減効果額	328,566千円																								
	維持管理費節減効果額	373千円																								
耕作放棄防止効果	9千円																									
評価期間(工事工期+40年)	46年																									
割引率	0.04																									
総便益額(現在価値) (B)	10,433,062千円																									
総費用総便益比(B/C)	1.02																									
環境への影響と対策	地域指定状況等																									
	本地区は、「河南町田園環境整備マスタープラン」において、環境配慮地区として位置づけられている。																									
総合評価	影響と対策																									
	本地区は、土地区画形状の改善拡大及び道水路の整備を総合的に実施することを目的としている。このため、用排水路は土水路からパイプライン及びコンクリート水路に整備することとしており、魚貝類や両生類等の水生生物の生育環境が消失する可能性がある。 このことから、排水路にワンドを設置し、魚貝類や両生類の産卵場所や越冬場所となる生息地を確保することとしている。また、排水路の一部に水田魚道工や遊水工を設け、魚類等の移動経路を確保し水路ネットワークの維持を図ることとしている。																									
総合評価	事業箇所評価結果																									
	<table border="1"> <tr> <td>評点による順位</td> <td>予算化された箇所数</td> <td>評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)</td> </tr> <tr> <td>5位/12</td> <td>6箇所</td> <td>—</td> </tr> </table>	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)	5位/12	6箇所	—																			
	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)																							
5位/12	6箇所	—																								
<table border="1"> <tr> <td>経営体育成基盤整備事業 (新規事業箇所)</td> <td></td> </tr> </table>	経営体育成基盤整備事業 (新規事業箇所)																									
経営体育成基盤整備事業 (新規事業箇所)																										
総合評価	対応方針																									
	事業実施																									

事業概要図



事業概要図



事業箇所の状況等

事業名	経営体育成基盤整備事業	施行地名	鹿又地区 石巻市鹿又地内
 <p data-bbox="424 790 1098 846">現況のほ場は、10aと小区画であり、また、地区内に分散しているため、大型農業機械による効率的な営農に支障を来している。</p>			
 <p data-bbox="424 1388 1098 1444">農道の幅員が狭いため、営農車両のすれ違いや、大型農業機械の搬入に支障を来している。</p>			
 <p data-bbox="424 1971 1098 2027">用排兼用土水路なためほ場の排水性が悪く、作付け可能な転作物物が制限されるなど、効率的な土地利用に支障を来している。</p>			